

インクルーシブ保育

～それぞれの違いを大切に、認め合うために～

当園では、一人ひとりが他者を認め合い、一緒に日常生活を過ごすことを通して、互いに解り合えることを目指しています。小さい頃からいろいろな違いのある人と出会い、様々な経験を重ねて、育ち合うことを大切にす
る保育を展開しています。



★ 『インクルーシブ保育』を展開しています ★

ハンディキャップのある子どもたちも、クラス活動を中心に過ごします。その子に必要な援助を受けながら子どもたち同士で育ちあうことを目的にしています。「すべての子どもたちに、必要とされる個別の援助を提供すること」を大切に保育者みんなで子どもたちの歩みを見守っていきます。

★ 保護者の情報交換の場 ★

ハンディキャップのある子どもたち(=そらグループ)の保護者の方々の集まりやつながりを大切に考えています。それぞれの思いを分かち合い、学びを深める時を学期に数回設けています。主な保護者の活動は、就学について・卒園児保護者の実情報告・通級、支援学級、支援学校の現状・行事の振り返りなどです。全園児の保護者の方々に、様々なハンディキャップの理解をいただくために、講師を招き講演会を開催や勉強会も行っています。主幹保育教諭がコーディネーターとして担当します。

★ アレルギー対応について ★

「すべての子どもに、必要とされる個別の援助を提供する」というインクルーシブ保育の思いから、アレルギー児もできる限りの対応をさせていただきます。特別給食を依頼する場合、医師の「食事指導指示書」を提出していただき、それをもとに特別給食を実施します。